

授業科目名 (英訳)	社会学 (特殊講義) 人種・エスニシティ論 Sociology (Special Lectures) Theories of Race and Ethnicity					担当者所属 職名・氏名	人文科学研究所 教授・竹沢 泰子				
配当学年	2・3 回生	単位数	2	開講年度 開講期	H27 前期	曜時間		授業形態	講義	使用言語	日本語(必 要に応じて 英語)
〔授業の概要・目的〕											
<p>グローバル化に伴う人の移動とコミュニティの再編成により、複数の文化にルーツを持つ人々の存在が注目を集めている。かつて人種ヒエラルキー維持の最大の脅威とみなされた「混血」をめぐるは、科学的言説は言うまでもなく、それを忌避するさまざまな社会言説が流通した。現代においては、社会的偏見や差別は今なお根強いものの、ミックス・レイス・ミックス・ルーツの人々が積極的に社会的承認を求めたり、自己表現をする場が可視化しつつある。ミックスというフィルターを通して過去から現在を見直すことにより、人種関係だけではなく、国民国家形成やポスト植民地主義についても従来とは異なる視座が得られることだろう。授業前半では、その前提となる集団のカテゴリーとアイデンティティについて、社会学や人類学関連の海外の論文の講読を通して研究の動向を把握する。</p>											
〔到達目標〕											
<p>「混血」に対する偏見の歴史を学び、今日の当事者らを中心とするアイデンティティ表現について理解を深める。全体として人間の分類に伴う偏見や差別に対する意識を高める。</p>											
〔授業計画と内容〕											
<p>1～2 授業概要 3～8 人種・エスニシティのカテゴリーとアイデンティティをめぐる 9～14 “critical mixed race studies”の最前線 15 まとめ</p> <p>* 週毎のトピック、課題論文等の詳細は、年度初めの授業で配布するシラバスを参照。 ** 上記のほか、希望者対象の大阪/神戸などへのフィールドワーク、ゲストによる講演等あり。 *** テーマごとにグループ討議を適宜採り入れながら、授業を進める。</p>											
〔履修要件〕											
人文系英語論文の読解力											
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕											
出席、討論、課題サマリー、学期末レポート											
〔教科書〕											
〔参考書等〕											
〔授業外学習（予習・復習）等〕											
予習：毎週の課題論文のサマリーを授業開始前に提出。											
〔その他（オフィスアワー等）〕											